



生徒募集案内



PL学園中学校・高等学校



設立理念



**人生は芸術である。
教育もまた芸術である。**
Life is Art. So is education.

PL学園は、設立母体であるPLの「人生は芸術である」との真理に立って、「教育もまた芸術である」つまり、保護者、教育現場の指導者が子どもをどのように育成するか、どのような人間に育てていくのが、教育はそのイメージの造形すなわち《芸術》であると考えます。保護者、本人の将来の到達目標を担任ほかの指導者がよく聞き取り、寮や所属教会の布教師も教育的支援に加わりながら、学園としてのまとまりの中にも、あくまで親身な個別対応を尊ぶのがPL学園です。



思う存分がんばれる 充実の教育支援施設

P.L聖地の北端に位置する広大な学園キャンパスは、平和で開放的でありながら、外部からの出入りが管理され、生徒たちの青春をはくくみ守る環境が整っています。

学校・寮で、教育現場に携わる教師も、生徒・保護者と信仰を同じくし、誠意と熱意をもって指導にあたります。また、充実した学校施設（中高共用）が、生活・学習・クラブ活動それぞれにおいて、一人ひとりの夢をあと押しします。



○体育施設群 体育授業・学校行事・運動部活動が毎日充実して行えます。

総合体育館（アリーナ・屋内プール・トレーニングルームあり）、第二体育館（柔道場・卓球場あり）、グラウンド1面（軟式球場含む）とは別に、硬式専用球場・雨天練習場、高校軟式専用球場、剣道場を備えています。



○学園食堂

寮生は3食とも食堂を利用します。自宅通学生の昼食は、弁当持参と、食堂利用のいずれかを選択できます。



○プラスワン（自習支援塾）

寮エリアに位置し、主に平日の夜間、教師が常駐し、質問に対応、自主学習を支援しています。衛星予備校講座サテラインのビデオ聴講もできます。

○他にも、講堂（生徒が操作できる音響・照明装置あり）、進路ガイダンスルーム、防音レッスンスタジオなど、整った環境をフルに活用して、

毎日の充実した学園生活が展開されています。



中学校

きめ細かな指導で、学ぶ楽しさを味わう

週五日制。英数は2年生から同時展開の習熟度別授業。

それぞれの習熟レベルに合った授業で、分かる喜びを実感できます。

朝のHR時に五教科日替わりの5分間テスト「朝学」を実施。漢字検定は級別全員受験。自信回復と集中力向上のための基礎力補充は指名制で計算・漢字練習のプレランチテスト授業での課題がこなしきれない生徒には課外の個別指導で、フォローアップを図ります。

習熟度上位クラスの約8割の生徒が、高校では国公立コースに内部進学します。



- 陸上競技記録会・校内球技大会（体育）、写生会（美術）、合唱コンクール（音楽）、百人一首大会（国語）など、実技的な学習成果を問う恒例の学校行事を行っています。いずれもクラス対抗戦の形で、生徒たちが意欲的に連帯できる学習活動の取り組みになっています。



バランスに配慮した時間割

実技教科の学習も重視します

教科	1年生	2年生	3年生
国語	4	3	3
社会	3	3	3
数学	4	3	4
理科	4	4	4
英語	3	4	3
音楽	2	1	1
美術	2	1	1
技術・家庭	2	2	1
体育	2.6	2.6	2.6
HR	1	1	1
総合	1.4	3	3
宗教	1	1	1
選択科目	0	1.4	2.4
合計	30	30	30

※表中の0.6時間は、2学期分、0.4時間は1学期分の授業数を意味します。

クラブ活動への参加率はほぼ100%です

整った環境の中で、充実した部活動ができます。初心者でもクラブ活動に参加しているうちに、周囲のレベルに合わせられるようになります。

こうした集中力、目覚ましい向上は、若いからこそできること。部活動は生活にリズムとほりを与え、友達と親密になり、体力づくり、思い出づくりに欠かせないものとなっています。



放課後の個別学習指導

○「宗教」

設立母体であるPLの教えを、中学生にも分かりやすく説き、表現する楽しさ、芸術生活に生きる楽しさが分かるよう、指導しています。

○「総合」

クラス演劇の発表会、校内の敷地を活用しての栽培実習、三年生での駐場体験など、参加型学習を通して、他のために尽くす喜びを味わい、また、コミュニケーション能力の育成に重点を置いています。



- 〔男子〕野球（軟式のみ）、卓球、
- 〔女子〕バレーボール
- 〔男女〕剣道、バトン、バスケットボール、陸上、柔道、吹奏楽、美術、広報、コーラス





高等学校

到達目標に応じて選び、学ぶ



■コース 入学時の志望および成績で2コースに分かれます。

〔国公立コース〕

習熟度が一定以上で、5教科受験に対応する大学進学重視のコース。

2年生から文系・理系に分かれ、少人数による効率的学習と演習に重点を置きます。

〔理文選修コース〕

1年生は理・文共通の時間割ながら、英語は習熟度別授業。2年生から理系・文系に分かれ、それぞれの進路に必要な科目を選択して学びます。語学・芸術・体育系などは文系、看護系などは理系選択を勧めます。

週五日制。土曜日午前、希望者には学内予備校講座を学年別に開講します。



一人ひとり、資質や到達目標の異なる生徒たちの、ニーズに応えることのできる教育的対応を目指します。難関校突破をめざす生徒には国公立コースで頑張れる環境を与える一方、スポーツ、芸術分野の素質を持つ生徒にはその才能を伸ばせる進路指導を行い、部活動もあいまってそれぞれの進路実績を上げています。放課後の補習授業、また、希望者には土曜日の学内予備校、衛星講座サテラインなど支援も多様で充実しています。

海外留学制度は個人の申請を審査し、(1年生3学期から)1年間の私費留学となります。

学年 コース 教科	1年生		2年生				3年生			
	国公立	理選	国公立		理文選		国公立		理文選	
			文	理	文	理	文	理	文	理
国語	4	4	4	4	3	3	5	5	3	3
社会	6	6	5	2	5	3	6	3	3	0
数学	5	5	5	5	0	5	6	6	0	6
理科	4	2	3	6	3	6	3	6	0	8
英語	4	6	4	4	6	6	6	6	6	6
芸術	2	2								
情報			2	2	2	2				
家庭			2	2						
体育	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保健	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総合学習	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
選択科目					6				15	3
合計	31	31	31	31	31	31	31	31	32	31

○シラバス(授業計画)は、ホームページで公開します。

○総合学習

校内記録会、校外学習などの学校行事のほか、設立母体の宗教行事にも全校生徒が参加し、教室だけでは学べないことを体験学習する機会となっています。

○プラスワン

夜間の自習支援塾のこと。生徒の質問にも対応します。



3年間の進路実績

生徒は全国から集まり、受験先も全国展開です。

【2011】 信州大、徳島大、奈良教育大、高知工科大、兵庫県立大、東京理科大、学習院大、駒沢大、東洋大、明治学院大、立教大、成蹊大、日本大4、国際武道大2、立命館大2、龍谷大、大阪歯科大、大阪経済大、大阪芸術大4、関西外国語大、近畿大4、関西学院大、住友金属、中日球団、楽天球団

【2010】 山形大、筑波大、大阪教育大、愛媛大、鹿屋体大、埼玉県立大、神戸市立外大、自治医科大、北里大(医)、明治大2、明治学院大4、立教大、関西大2、立命館大2

【2009】 信州大(医)、神戸大、鹿屋体大、神戸市立外大、早稲田大4、明治大2、法政大、明治学院大4、関西大3、関西学院大、立命館大3





**目標は全国大会。より高度なクラブ活動に取り組んでいます。
輝かしい実績**



- 硬式野球部** 【全国大会出場】春20回・夏17回
 【全国優勝】春3回、夏4回、国民体育大会3回
 【準優勝】春1回、夏3回 【勝敗】春48勝17敗、夏48勝13敗
- 剣道部** 【全国優勝】高校総体個人男子8回、個人女子1回、全日本女子選手権1回
 高校総体団体男子6回、団体女子7回
 剣道選抜団体男子1回、団体女子1回、玉竜旗大会男子3回
- 軟式野球部** 【全国優勝】高校軟式野球選手権1回、国民体育大会1回
- バトン部** 【全国優勝】バトントワリング全国大会高校の部グランプリ24回（1976～2010）
 JAPAN CUP全国バトントワリング選抜大会 五連覇（2005～09）
- ゴルフ部** 【全国優勝】全国高校ゴルフ選手権2回（1980～1981）



クラブ一覧

- （男子）硬式野球、軟式野球 （女子）バレーボール
 （男女）剣道、バトン、バスケットボール、陸上、柔道、
 ゴルフ、吹奏楽、美術、軽音楽、
 E S S、家庭科、広報、園芸

23年度私立美術展会長賞受賞作



生徒の体験作文



小さな頃から続けていたバトントワリングを、憧れのPL学園でやりたいと思ったのが志望のきっかけでした。入学してびっくりしたのは、周りのことに気づいたら、みんなすぐに動けるところです。例えば、床にごみが落ちていればすぐに拾って捨てる。困っている人を見かけると、すぐ手助けする。そんな人たちを見て、自分のことで精一杯だった私も、回りを感ずることの大切さを学びました。

推薦入試では小論文試験が重要になります。いざ書こうとしても全く書けません。自分の知識の無さに情けなくなり、やる気をなくしました。しかし、先生は「知識はないかもしれないけど、あなたが、自分では当たり前と思っていることでも、本当は内容の濃い経験をしているんだよ。その時々で考えたこともたくさんあるはず」—そう教えてくださいました。それから気を取り直して、いくつもいくつも、前に進むスピードは遅かったかもしれませんが、精一杯書き続けました。こうして、なんとか第一志望の地元の国立大学に合格させていただくことができました。（56期卒女子）

○ボランティア講座とエコロジー活動

高校3年生の選択講座に、福祉施設での奉仕、公道の美化清掃など、ボランティア講座を設けています。

また、生徒会の主導で、ボトルキャップやプルタブの回収を生徒とPL会員に呼びかけ、世界の子どもにワクチンを送る、または、車椅子に替えて寄贈する活動への参加を継続しています。

(下は富田村障害者登山で、車椅子を介助する様子)



○学校医としてのPL病院

同じ聖地の一角にあるPL病院は、学校医契約を結ぶ総合病院として、生徒たちが安心して学ぶうえで、きわめて心強い存在といえます。



寮生活の意義

本校では、希望により、親元を離れて学ぶ生徒が、寮生活を体験できます。下宿とは異なり、寮生活を通じ、良い生活習慣を育み、PLの教えにより深く触れられるよう願って寮日課が決められ、教団の布教師夫婦が生活を共にしています。PL学園での寮生活が、一人ひとりの人間力を高め、良い思い出となり、人生において貴重な経験として生きることを期待しています。

右上 中高女子の寮舎 「葛城寮(かつらぎりょう)」

右下 中高男子の寮舎 「金剛寮(こんごうりょう)」



保護者の体験作文

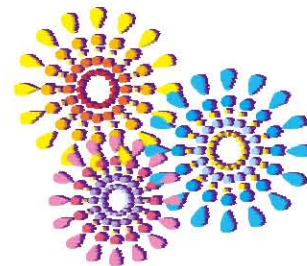
ひと足さきに中学校へ入学していた弟の姿を見て長男は高校から学園にお世話になりました。入学後、長男は弟の勧めを素直に聞き入れ、軟式野球部に入部するというので、主人と私は驚きました。初心者で始めたので、2年生、3年生になっても後輩の方が上手でした。それでも一度も辞めたいとは言わずに最後まで続けられたのは、クラブの先生や仲間がとても温かくフォローしてくれ、その気持ちを長男も十分感じ取っていたからだと思います。

卒業を間近に控えたある時、長男は「PL学園に入学したことも、軟式野球部を続けられたこともみんなT(弟)のおかげ、卒業して大学生になったら、アルバイトして大きなプレゼントをあげたい」と口にしていました。この言葉を耳にしたときには、涙が出るくらいうれしかったです。普段そんなに仲良くしているようには見えないけれど、こんなふうに兄弟支えあう思いやりが育っているなんて、親元を離れて寮生活をしていなかったらと思うと、改めてPL学園の素晴らしさを感じています。



スケジュールカレンダー

学校・寮行事に宗教行事も加わるところが独自です。



4月 入園式、始業式 健康診断 スタディーサポート(高)	9月 始業式 スタディーサポート(高) センター&推薦入試説明会(高)	1月 センタープレテスト(高) 始業式 A日程入試(中・地方)
5月 クラブ入部届 内部進学説明会(中) 中間考査 校外学習	PL祭運動会&学園祭 10月 中間考査 校内球技大会	校内百人一首大会(中) 2月 卒業式(高 2月4日) B日程入試(中高・本校)
6月 校内陸上記録会 校内実力考査(中) 大学短大模試(高) 保護者懇談会	11月 校内写生会(中) 保護者会ランチ 校内実力考査(中) 国際教育LHR 合唱コンクール(中)	大学推薦認定テスト(高) C日程入試(再受験) 3月 学年末考査 卒業式(中 3月17日)
7月 期末考査 芸術鑑賞会 転入試験(中) 学園中高生錬成 終業式(7月31日)	12月 教主誕生祭&文化部ステージ 期末考査 終業式(12月22日)	スケート講習会(中) 終業式(3月22日) 追認考査・進級判定
8月 教祖祭(式典・花火芸術) 夏季補習セミナー(高)		



生徒の体験作文(中2男子)

現在、PL学園中学校に在学し、剣道部に所属しているのですが、家族のおかげがあってこそのことと感謝しています。父は仕事上、半年以上家を空けることがあります。家に帰ってきたときはゆっくりしたいはずなのに、通学する私を駅まで送ってくれます。母は毎朝早く起きてお弁当を作ってくれ、雨の日は駅まで送ってくれます。そして、剣道の試合があるときはそろって応援に駆けつけてくれます。

父がいない時、母は父の分まで私を叱ってくれます。私のためを思っていることと分かっているつもりなのですが、時には不足に思うことがあります。私に成長のチャンスを与えてくれているので、できる限りしっかりと受け止め、また、感謝できるようにしたいと思います。いつか世のため人のため、積極的に動くことができる大人になること。そのことが両親への一番の恩返しになるはずなので、頑張ります。



《人生は芸術である—生徒・保護者・教師の心が響きあう》

「人の一生は自己表現である」——私たちは、一人ひとりが自己表現の喜びに生きてと思っています。いろいろな壁にぶつかって行き詰まることもありますが、PL学園では、求めるほどいろいろな解決法が学べます。人として生まれ、生き、周囲のために、社会のために自分にしかできない役割を果たしたい。そのために自分という個性を磨いて、より上質の自己表現ができる人になろう。PL学園に集う生徒・保護者・教師は皆がそう願っています。

PL学園では、ベースに、信仰の心を育みながら、学力・気力・体力を伸ばし、健全な人格を育成することを目標としています。



家庭科の保育観察授業
(PL学園幼稚園で)

聖地バトン発表会
(高3生の演技)



案内図



※喜志駅より徒歩 約 15分。車は「旭ヶ丘北」からが便利です。

PL学園中学校・高等学校

〒 584-8555 大阪府富田林市大字喜志 2 0 5 5 番地

TEL 0721 (24) 5132

FAX 0721 (24) 4326

URL <http://www.pl-gakuen.ac.jp>

募集要項（高校入試 本校会場）

修 業 年 限	3 か 年		
募集人数・課程	普通科120名…………… (内部進学者を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ┌ 国公立コース (男・女) └ 理文選修コース (男・女) 	
応 募 資 格	平成25年3月中学校卒業見込者及び卒業生(寮生活と自宅通学とを選べます)		
出 願 手 続	提出書類 (本校所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学願書 ○ 個人報告書 ○ 受験生・保護者アンケート 	
	検 定 料	15,000 円	
	願 書 受 付	平成25年1月23日(水)から2月4日(月)まで(当日必着) PL学園高等学校 入試部宛 郵送のこと	
試 験	期 日	平成25年2月9日(土)	
	会 場	本校	
	科 目	国語・数学・英語(リスニングを含む)	
	そ の 他	面接(保護者同伴)	
合 格 発 表	平成25年2月13日(水)	電子郵便にて通知	
入 学 手 続	平成25年3月1日(金)までに右記の 手続きを完了してください	<ul style="list-style-type: none"> ○入学誓約書、その他の書類提出 ○入学手続き時納付金の納入 	
	※入学手続きをしない場合は入学許可が取り消される場合があります		

【注】試験会場は都合により変更されることがあります。

- 不明の点は、PL学園高等学校 入試部 にお問い合わせください。
- 入学後の申請により選考される奨学生制度(若干名)があります。

募集要項（中学入試 本校会場）

修 業 年 限	3 か 年			
募 集 人 数	70名（男・女）……………内部進学者を含む			
応 募 資 格	平成25年3月小学校卒業見込者（寮生活と自宅通学とを選べます）			
出 願 手 続	提 出 書 類 （本校所定用紙）	○ 入学願書 ○ 受験生・保護者アンケート		
	検 定 料	15,000 円		
	願 書 受 付	A日程	平成24年12月20日（木）から平成25年1月15日（火）まで（当日必着）	
		B日程	平成25年1月23日（木）から	2月4日（月）まで（当日必着）
C日程		平成25年2月14日（木）から	2月20日（水）まで（当日必着）	
	PL学園中学校 入試部宛 郵送のこと			
試 験	期 日	A日程	平成25年1月19日（土）	
		B日程	平成25年2月9日（土）	
		C日程	平成25年2月22日（金）	
	会 場	A日程	本校	
		B日程	本校	
		C日程	本校	
科 目	国 語 ・ 算 数			
そ の 他	面接（保護者同伴）			
合 格 発 表	A日程	平成25年1月23日（水）	電子郵便にて通知	
	B日程	平成25年2月13日（水）		
	C日程	平成25年2月25日（月）		
入 学 手 続	A日程	平成25年3月1日（金）までに	○入学誓約書、その他の書類 提出	
	B日程	右記の手続きを完了してください		
	C日程	平成25年3月12日（火）までに 右記の手続きを完了してください	○入学手続時納入金の納入	
	※入学手続きをしない場合は入学許可が取り消される場合があります			

【注】 ○ 受験の機会は二回までです。

A日程で受験された方の再受験はB日程だけです。

○ 試験会場は都合により変更されることがあります。

○ 不明の点は、PL学園中学校 入試部 にお問い合わせください。

中学校・高等学校納付金一覧表

科 目		入学時納付金（前期）	後期（10月1日納入）
授業料等	入 学 金	180,000 円	
	授 業 料	252,000 円	252,000 円
	施 設 維 持 費	30,000 円	30,000 円
生 徒 会 費		6,000 円	6,000 円
保 護 者 会 費		（年額）5,000 円	
授業料等小計		473,000 円	288,000 円
寮納付金	寮 費	168,000 円	168,000 円
	寮施設維持費	25,000 円	25,000 円
	計	193,000 円	193,000 円
学校寮納付金合計		666,000 円	481,000 円

- (1) 入学金は入学時に納入いただく一時金です。
- (2) 入学時にお納めいただくのは、授業料・学校施設維持費・生徒会費・保護者会費・（入寮の場合）寮費・寮施設維持費の1年次前期分です。1年次の後期以降も毎年、前期・後期の2回お納めいただきます（納入時期に先立ち、引き落としのご案内をさしあげます）。
- (3) 入学時に、学校指定品（制服・体操服・上履き・体育館シューズ、他）と補助教材費（教科書・実習費、他）の実費として10万円ほどかかります。
- (4) 入寮の場合は、寮費とは別に生活費（食費・お小遣い、他）が月々6万円ほどかかります。